

『災害廃棄物処理計画』の策定について

1 目的

本市の「地域防災計画」を補完し、想定される災害に対する事前の処理・処分体制を整備し、国・県の指針に基づき災害廃棄物の円滑な処理を推進するもの。

2 想定災害

震災：森本・富樫断層帯が活動した場合の都市直下型地震による災害。

『金沢市地域防災計画』における想定地震。

〔 平野部のほとんどの地域で震度 6 弱以上。
浅野川流域とその周辺の造成地、及び河北潟周辺地域で震度 6 強。 〕

水害：犀川及び浅野川の 2 河川が同時氾濫した場合の災害。

「犀川浸水想定区域図」と「浅野川浸水想定区域図」から算定。

〔 2 日間総雨量が 260～314mm で、100 年に 1 回起こりうるような豪雨を想定。
浸水面積は、犀川約 1,491ha、浅野川約 1,504ha。 〕

3 災害廃棄物等発生量の推計

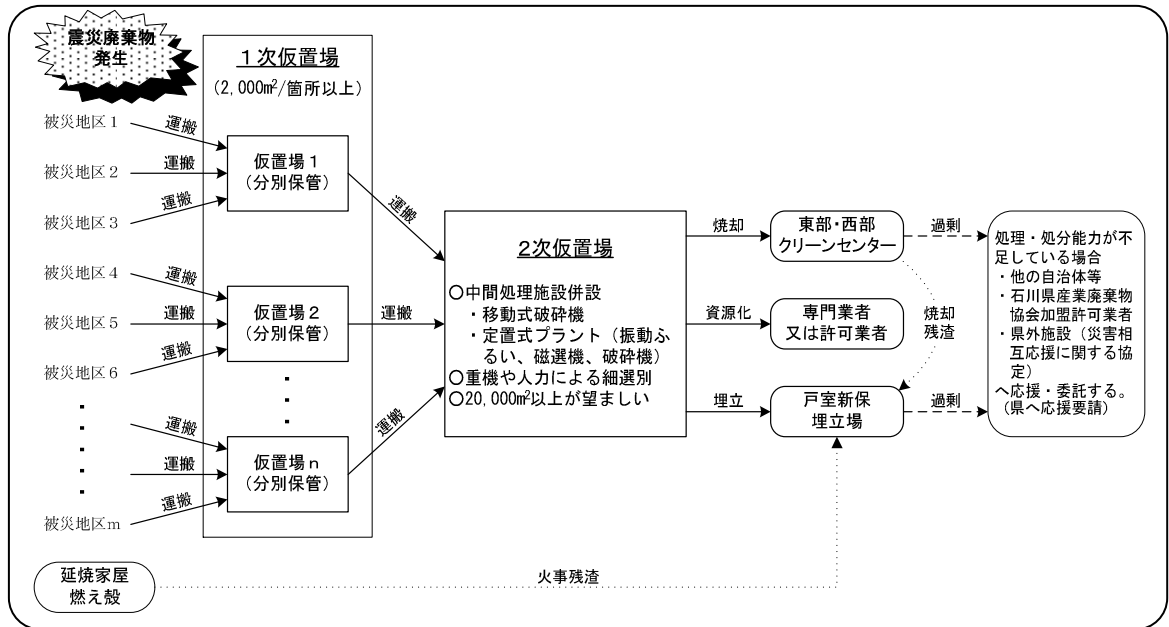
平成 7 年の「阪神・淡路大震災」及び平成 16 年の「福井豪雨」等の災害実績と『金沢市地域防災計画』における想定避難者数等に基づいて、災害廃棄物・し尿・浄化槽汚泥の発生量を推計。

災害廃棄物等発生量推計	震災	水害	通常時
災害廃棄物	2,869,085t	58,962t	111,807t / 年 (H18 家庭ごみ実績)
し尿	504kL / 日	60kL / 日	10kL / 日 (H18 処理実績)
浄化槽汚泥	24kL / 日	700kL / 日	53kL / 日 (")

〔 参考：阪神・淡路大震災における神戸市内震災廃棄物量 約 8,035,000 t (兵庫県資料)
能登半島地震における県内震災廃棄物量 約 430,963 t (H19.7.6 環境省発表資料)
平成 16 年福井豪雨における福井県内水害廃棄物量 約 32,845 t (福井県資料) 〕

4 処理計画の概要

災害廃棄物の処理フロー



水害時も基本的なフローは同様

仮置場候補地を検討

市総合体育館・城北市民運動公園等の公共スポーツ施設・公園内の駐車場や多目的広場等を候補地として検討。

必要面積	震災：73ha (728,800 m ²)	水害：3ha (30,240 m ²)
------	-----------------------------------	---------------------------------

災害廃棄物処理・処分能力を検証

本市クリーンセンター、市内民間処理施設で処理した場合の期間を検証。特に震災時には10年以上の処理期間を要するため、県・他自治体への応援要請が必要。

仮設トイレ必要数、し尿・浄化槽汚泥処理能力を検証

想定災害における避難者数に基づいて仮設トイレの必要数を算出。また、仮設トイレから発生するし尿、水害により水没する便槽・浄化槽から発生するし尿・汚泥の処理に必要な能力を検証。

西部衛生センターの能力を超過するため、県・他自治体への応援要請が必要。

5 スケジュール

1～2月 庁内関係各課、県関係部課と協議

3月下旬 計画策定後、関係各課及び関係市町あて送付